

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	インターネット社会論		
担当者(Instructors)	宮城 エステバン	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

インターネットの歴史、技術進化、社会・ビジネスへの影響を分析し、セキュリティやプライバシー問題などの課題にも焦点を当てます。受講生は、インターネットが世界をどう変えたか、将来の可能性を学び、新しいビジネス機会を発見するスキルを身につけます。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式 1. プレゼンテーション (スライド、動画、ケーススタディーなどを用いる) 講義形式 2. 実社会の事例 講義形式 3. 教室内のグループ・ディスカッション、グループ・ワーク なお、必要に応じてメディア授業 (オンデマンドもしくはオンライン) で実施する場合があります。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	IT外資系企業・日系企業での27年以上実務経験をもとに本講義ではその経験に基づき、授業を行う。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	学期を通じた学習の概略と目的を理解する。注意事項。自己紹介。	<input type="checkbox"/>
第2回	インターネットとは？ インターネットの前はどんな通信世界だった？ インターネットと軍・大学の関係	インターネットの仕組み (技術・ビジネス・社会現象・歴史) を理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	インターネットビジネスの誕生 (会社の上場・次々億万長者の誕生)	小テスト。インターネットビジネスの仕組みを理解する	<input type="checkbox"/>
第4回	ネットワーク・コンピュータ・ソフトウェアの進化・WWWの誕生。	小テスト。インターネットビジネスの仕組みを理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	ハッカーの誕生：情報セキュリティ	小テスト。情報セキュリティを理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	ダークウェブ(Dark web)の誕生	小テスト。ダークウェブ(Dark web)を理解する	<input type="checkbox"/>
第7回	中期レビュー	これまでの講義内容を総括する	<input type="checkbox"/>
第8回	IoT：全てが繋がっています。つながっている社会：家電・街・車・家電	小テスト。IoTを理解する	<input type="checkbox"/>
第9回	インターネットのベンチャー企業のチャレンジ	小テスト。インターネットベンチャー企業のビジネスを理解する	<input type="checkbox"/>
第10回	インターネットのダークビジネス：ギャンプル・アダルト・違法グッズ	小テスト。インターネットのダークビジネスを理解する	<input type="checkbox"/>
第11回	インターネットとAI	小テスト。AIを理解する	<input type="checkbox"/>
第12回	インターネットの未来	小テスト。インターネットの未来を理解する	<input type="checkbox"/>
第13回	SNS・アプリ市場の分析	小テスト。SNS・アプリ市場の分析を理解する	<input type="checkbox"/>
第14回	世界各国のインターネット	小テスト。世界各国のインターネットを理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	まとめ	これまでの講義内容を総括する	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習 (予習・復習) の内容(Preparation/review details)

事前に講義で学習するテーマおよび内容を確認しておく。事後は、配布資料や講義で学んだ内容を振り返り復習をしておく (毎週4時間程度)

**■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)**

提出されたレポート・課題は、採点の上で返却します。筆記試験・テストは、解説とともに解答例を提示します。

**■授業の到達目標と評価基準(Course goals)**

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	インターネットの歴史・技術の仕組みを理解して説明ができる。

**■成績評価(Evaluation method)**

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

**授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)**

授業内試験とは出席点ではありません。課題の提出状況とその内容、講義テーマの理解度によって評価を行います。本講義の出席は、各回の課題提出の期日順守をもって認定されます。出席点は総評点の30%です。

**■テキスト(Textbooks)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。スライドと配布資料を用意します。	
2		
3		
4		
5		

**■参考図書(references books)**

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	インターネット白書2026 [Vol.26]。Impress R&D.	978-4-295-60074-9
2	インターネット白書1996 [Vol.1.]。Impress R&D	4-8443-4739-X
3		
4		
5		